純正ミラー交換タイプ

デジタルルームミラー
【取扱説明書】

LMR-001

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。

LaBoon!!
車とカー用品の研究室

サポートは以下QRコード
のリンク先から承ります。

目 次

■使用上のご注意 …… 1
■安全上のご注意 …… 2
■付属品の確認 …… 3
■取付位置の確認 …… 4
■各部の名称 / 取付時のご注意 …… 5
■取付作業の前に …… 6
■取り付け前の準備 …… 7
■デジタルルームミラー本体の取付 …… 8
■電源ケーブルの取付 …… 9
■リアカメラを取り付ける…… 10
■リアカメラ中継ケーブルの引き回し例 …… 11
■取付完了後の確認 …… 12
■カメラの角度調整 …… 12
■電源とディスプレイのON/OFF …… 13
■故障かな？と思ったら …… 14

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

■あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。

■運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。

■ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。

■外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

■夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。

■映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。

■サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。

■LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
12V車以外では使用しないでください。

■本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

■極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。

■本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。

■本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。

■本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。

■磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。

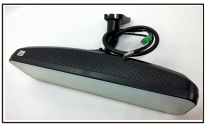
■フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。

■太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。

■※ブルーミング現象：強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

付属品の確認

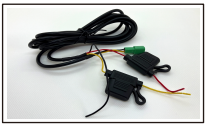
■構成部品



デジタルルームミラー
本体

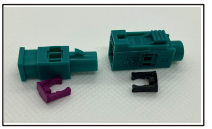
ケーブルカバー

車内設置リアカメラ

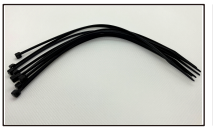


電源ケーブル

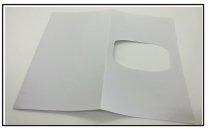
リアカメラ
中継ケーブル



FAKRAコネクタ
オスメス２セット



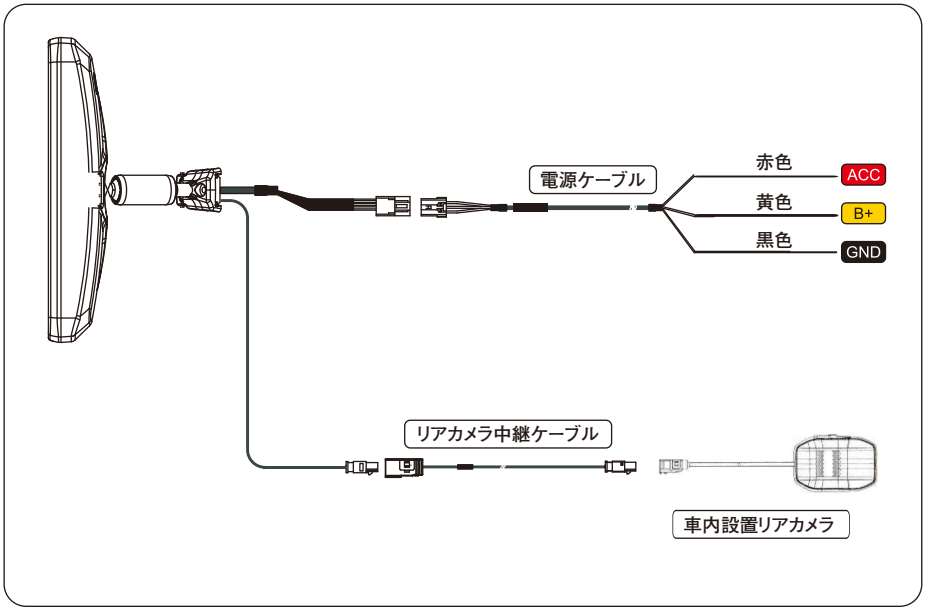
結束バンド



型紙

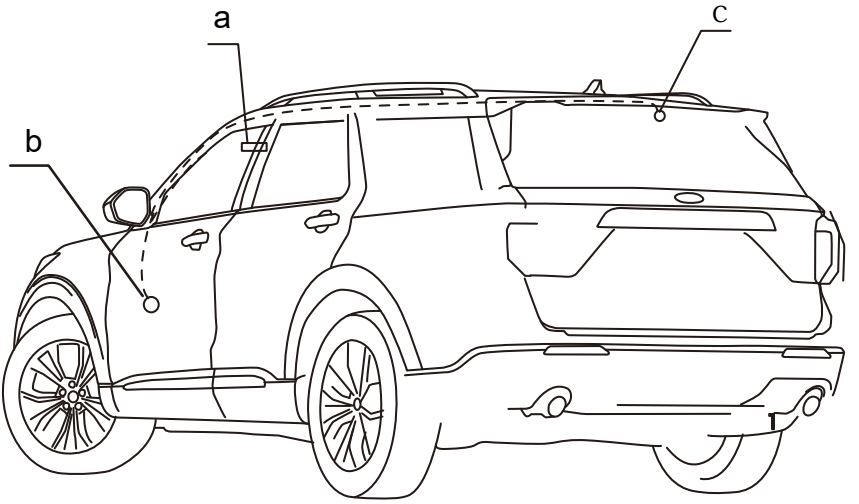
取扱説明書（本書）

■配線図



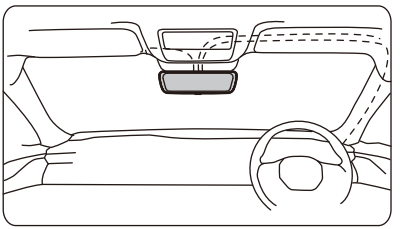
取付位置の確認

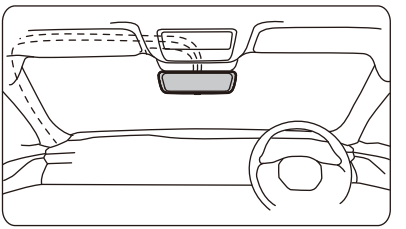
本製品の取付位置はお車により異なります。
作業を始める前には、お使いのお車の取付位置を確認 してください。



a.純正ルームミラーを取り外し、本機デジタルルームミラーを取り付けます。
b.電源ケーブルの各配線は車両側配線(ヒューズ電源)に接続します。
c.リアウィンドウの内側にリアカメラを取り付けます。

※ヒューズボックス位置(運転席側面/助手席側面)によって、フロントピラー部の
配線方法が異なります。





各部の名称

⚠ **注意** 感光センサーの誤動作を防ぐため、センサーに触れたりセンサーを覆ったりしないでください。

取付時のご注意

- ●安全な場所に駐車して作業をしてください。
- ●運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ●ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- ●先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- ●本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- ●本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
- ●複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- ●接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。

取付作業の前に

■作業の前に

●異常発生時やお問い合わせは、サポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
●取り付ける前に構成部品をご確認ください。
●ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

■作業の進め方

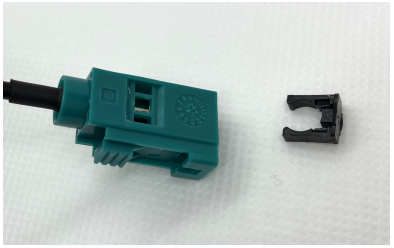
1.同梱物を確認する
2.本取付前に動作確認す
3.ミラー本体・リアカメラを取り付ける
4.本体と各ケーブルを接続する

■本体の動作確認

本取付け前に、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

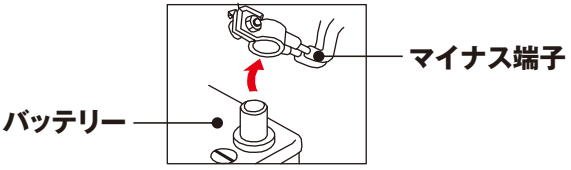
1.FAKRAコネクタのメスをミラーから出ているカメラケーブルに取り付ける。

【ケーブルを奥まで押し込み】



【リテーナーでロックする】

2.バッテリーのマイナス端子を外す。



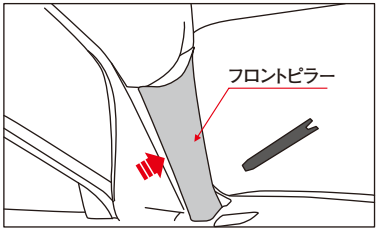
⚠ マイナス端子を外す際の注意

●純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
●カーナビの設定がリセットされます。
●時計がリセットされます。
●その他、電子機器の再設定が必要です。

3.本体に電源ケーブル、リアカメラケーブル、リアカメラを接続する。
4.電源ケーブルにギボシ端子を取り付け、ACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
5.動作確認する
6.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。

取り付け前の準備

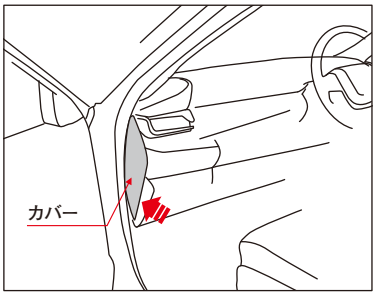
1. 取付概要図を参照して、配線側のフロントピラーを取り外します。



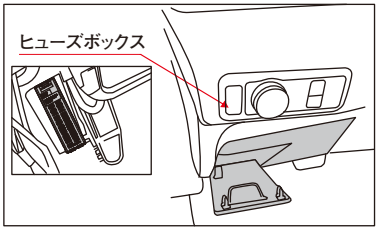
⚠ 注意

エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。
また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。
必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。

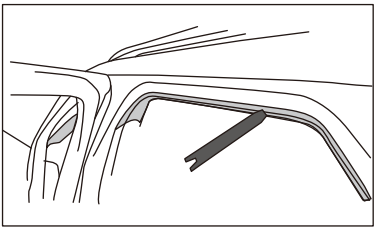
2. 取付概要図を参照して、車に応じて配線側のアンダーカバーなどを取り外します。



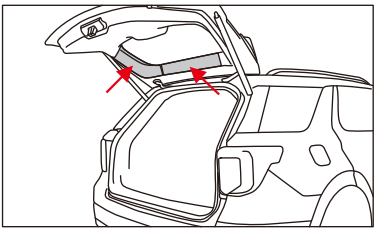
3. 車の取扱説明書等でヒューズボックス、アース位置やヒューズの詳細を確認してください。



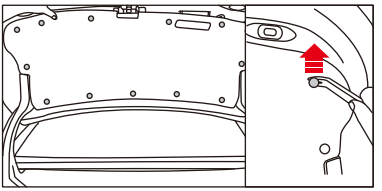
4. ドアを開け、ウェザーストリップゴムを引っ張り、配線しやすいように外します。

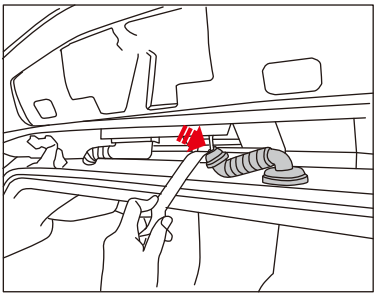


5. 取付概要図を参照して、車に応じてバックドアロアトリムなどを取り外します。



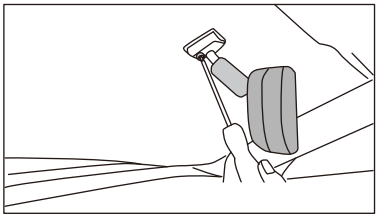
6. 取付概要図を参照して、テールゲートライニングや車両グロメット（バックドアがある車）などを取り外します。



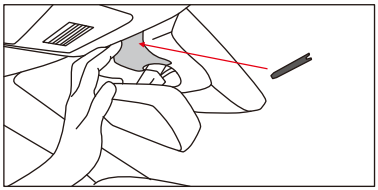


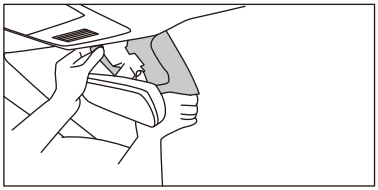
デジタルルームミラ本体の取付

1. 純正ルームミラーがねじで固定されている場合は、取り付けねじを外します。

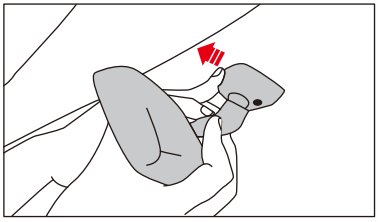


※運転支援機能用センサーなどの装備品が搭載されている場合は、センサー部のカバーを取り外してください。

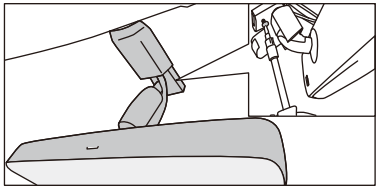




2. 純正ルームミラーを上(天井)方向にずらして取り外します。
※ツメで固定されている場合は、ツメを下げながら外してください。



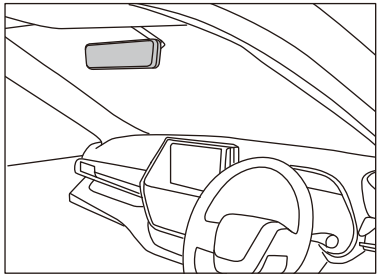
4. デジタルルームミラー本体を車両に取り付け、ねじで固定します。



⚠ 注意

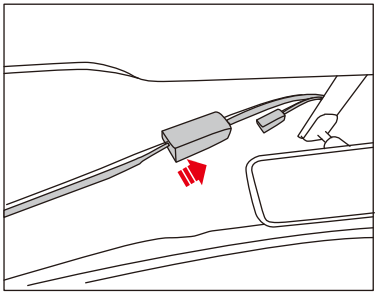
●付属品以外のねじは使わないでください。ネジを締めすぎないようにご注意ください。

5. デジタルルームミラー本体の取り付けは以上で終了です。

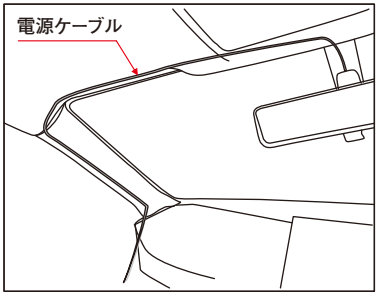


電源ケーブルの取付け

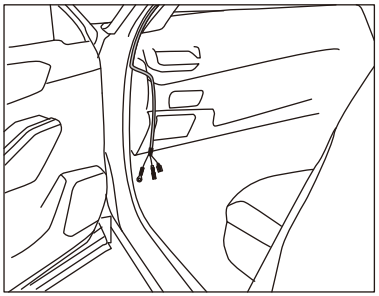
1. 本体の電源のコネクタを電源ケーブルのコネクタにカチッとロックがかかるまで挿入します。



2. 下図のように電源ケーブルをはルーフライニング、フロントサイドピラーライニング内を通します。



3. 下図のように電源ケーブルをヒューズボックス側座席の足元まで引き回します。



⚠ 注意

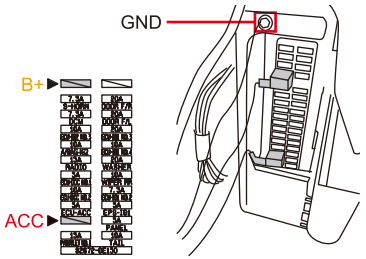
●エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4.電源ケーブルの各配線はヒューズボックス、または下記の車両側信号配線に接続します。

●GND(ボディーアース)線：
車両金属部分のボルト、ボディーアース配線などに接続します。

●ACC線：
市販のヒューズ電源取り出しケーブルを用いて、ヒューズボックスのアクセサー回路から電源を取ります。

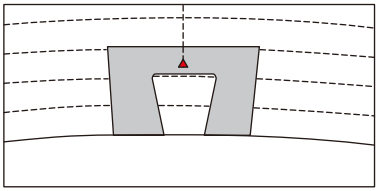
●BAT+線：
車のエンジンのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路を確認後、接続してください。



アドバイス GND端子の締付トルク目安 約10±1kgf

リアカメラを取り付ける

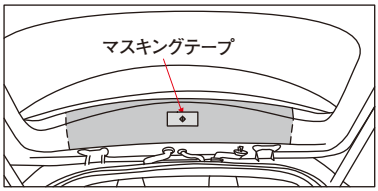
1.取付概要図を参照して、リアカメラの設置場所を決めます。

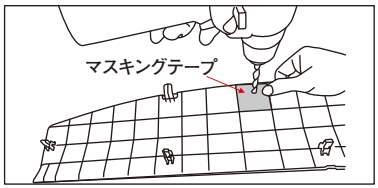


⚠ 注意

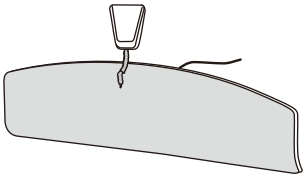
- ●取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付ける位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- ●必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- ●カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

2. カメラ取り付け部付近に、カメラケーブル配線用の穴あけ加工します。
※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。

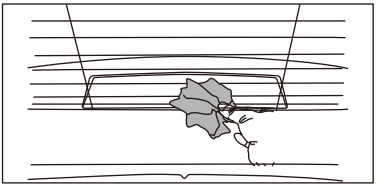




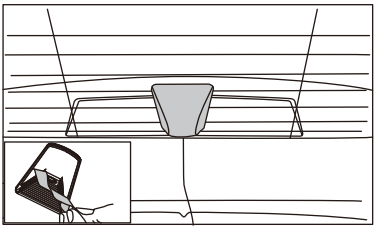
3. リアカメラの接続端子、ケーブルをを穴にゆっくり通します。



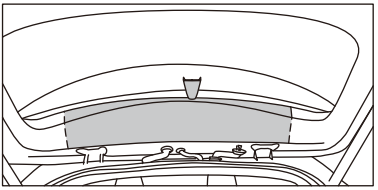
4. 車両側貼付け面の汚れを洗浄し、油脂等を脱脂剤できれいに拭き取ってください。



5. リアカメラ取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がしてから取付面に貼ります。

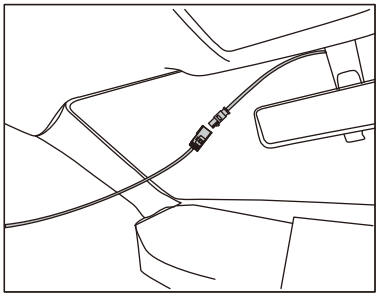


6. リアカメラの取り付けは以上で終了です。

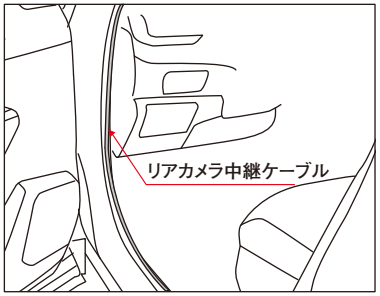


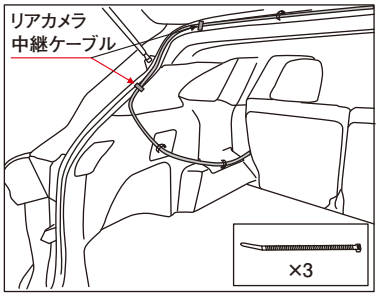
リアカメラ中継ケーブルの引き回し例

1. リアカメラ中継ケーブルのコネクタをデジタルルームミラー側のコネクタに取り付けます。

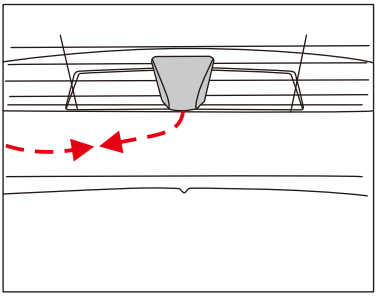


2. 雨水などが浸入しないよう、リアカメラ中継ケーブルを配線してください。





3. リアカメラ中継ケーブルのコネクタとリアカメラのコネクタを接続します。



⚠ 注意

- ●取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。
- ●端子を確実に差し込んで下さい。
- ●着脱時にはケーブルを引っ張らないでください。
- ●ケーブルは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ●ケーブルは、高温に上昇する車両の装置に接触しないようにしてください。

取付完了後の確認

■車両部品の復元

取り外した車両部品を元通りに復元します。

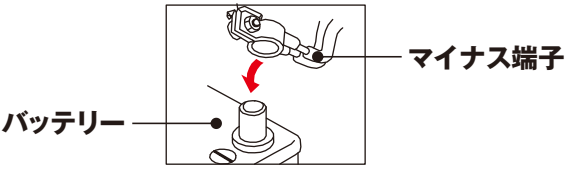
> ⚠ **注意**　ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■作業の後に

1.取り付けた機器や、配線が正しくされているか確認します。

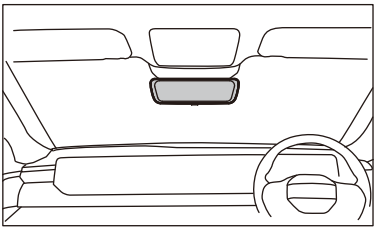
2.デジタルルームミラー本体、フロントカメラ、リアカメラがしっかり固定されているか確認します。

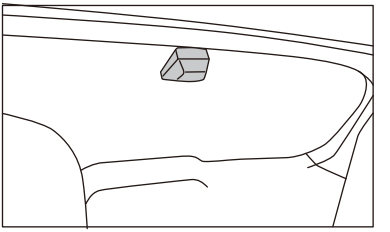
3.バッテリーのマイナス端子を接続します。



4.車のエンジンをかけ、デジタルルームミラー、フロントカメラ、リアカメラが正常に動くことを確認します。

■取付完成図





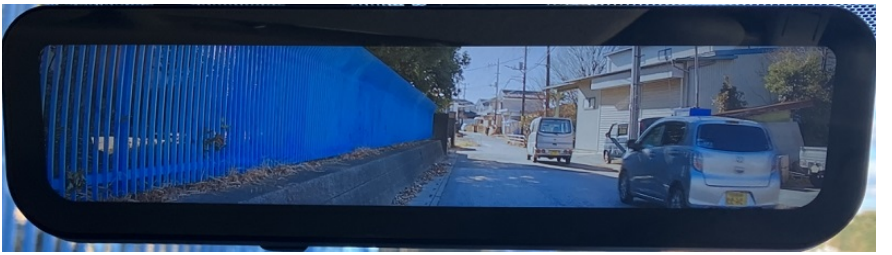
カメラ角度の調整

カメラのレバーを上下に動かして、ディスプレイに映る 範囲が適切になるように調整します。

電源とディスプレイのON/OFF

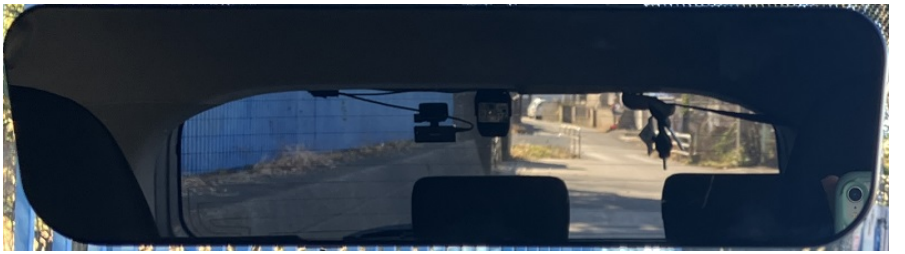
■電源のON

車のエンジンを始動（イグニッションキーをON）にすると、本機の電源がオンになります。



■電源のOFF

車両のエンジンを停止（イグニッションキーをOFF）すると、本機の電源がオフになります。



■ディスプレイのOFF

筐体下部ボタンを押すとディスプレイの表示がOFFになります。

サポートは以下QRコードのリンク先から承ります。

LaBoon!!
車とカー用品の研究室